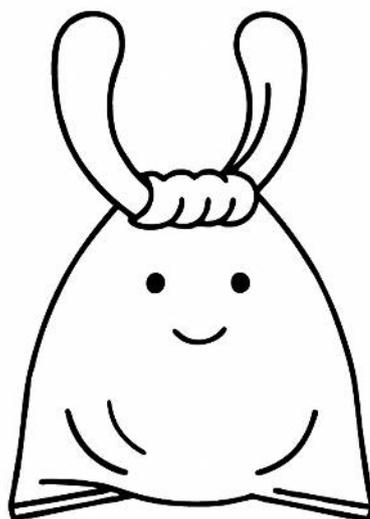


第47回 日本包装管理士会関東支部定時総会 議案書

2019年6月26日(水)13:30 開会
(株)文昌堂 10F貸会議室



つつむ君

日本包装管理士会関東支部

第47回 日本包装管理士会関東支部定時総会

次 第

と き: 2019年6月26日(水)13:30 開会

ところ: (株)文昌堂 10F貸会議室

1. 開 会(13:30)
2. 出席者の確認／総会成立確認
3. 支部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録作成者並びに同承認者指名
6. 議 事(13:40～14:30)
 - 第1号議案 2018年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件
 - 第2号議案 2018年度監査報告
 - 第3号議案 2019年度事業活動計画(案)及び収支予算(案)審議の件
 - 第4号議案 その他
7. 役員挨拶
8. 閉 会

第1号議案－1 2018年度事業活動報告

(期間:2018年5月1日～2019年4月30日)

1. 総 会:第46回定時総会 2018年 6月28日(木) 於:榊文昌堂 10F貸会議室

2. 理 事 会:年間4回開催した。

①5月24日(木)、②7月19日(木)、③10月19日(金)、⑤3月18日(月)・集中討議

*12月13日(木)に予定の理事会は情報交換会(忘年会)としたため会議数から除外。

3. 理事集中討議会:

2019年 3月18日(月)15:00～20:30明石町区民館第5洋室にて開催。

2018年度の反省と、2019年度の事業活動計画、スケジュール等について、集中的に討議した。

●主な討議内容

1)2018年度事業の振り返り

(1)収支関連

・収支経過報告書および事業実施報告書をもとに個別事業内容の確認。

(2)各種行事(見学会、研究会等)

・研修会(スキルアップセミナー、包装研究会とも)参加者が少なかった。対応検討が必要。

(3)”Wippl”コミュニティー活動状況報告/大枝理事提出資料をもとに報告。

・メンバーが18名に増加した。情報交換会、見学会などを企画し活発化を図る。

(4)IPPコミュニティー/ツイッターによるWEB広報活動開始

・ツイッターによる広報活動を2018年12月中旬より開始。

・3月2日時点でのフォロワー数は471アカウント(2月に急伸。IPP・HPに告知を掲載)。

2)2019年度事業活動計画検討

(1)支部総会及び理事会日程

・総会は6月最終週頃に本部と同日開催する。

・理事会は年間5回を予定する。他に年末情報交換会を1回予定する。

(2)支部間交流は、包装技術研究大会時の開催を予定する。

(3)新企画立ち上げを支援する。経費は企画費・組織・新会員対応の項で処理する。

3)関東支部50周年記念事業企画プロジェクトに進展がなかったため、次の対応を決めた。

(1)2019年7月5日(金)に第1回検討会を開催し、2020年2月6日(木)を目途に方針をまとめる。

4. 交 流:

1)包装研究会、見学会において情報交換会を実施し会員間の交流を行った。

2)東京パック期間中の10月4日に支部間交流を開催したが、他支部からの参加者がなかった。

5. 包装管理士講座第53期生のIPP入会促進

第53期包装管理士合格証書授与式当日及びその後の事業において入会を勧めた。

1)第53期包装管理士合格証書授与式

2018年10月19日(金)、秋葉原UDXにおいて第53期包装管理士 東京会場合格証書授与式が行われた。東京会場では、245名の新包装管理士が誕生した。

山田孝志会長が来賓として祝辞を述べ、その後の懇親会において古平篤支部長の発声で乾杯の後、懇談が始まった。懇親会には包装管理士会理事のメンバーが加わり、IPPをPRした。

2)仮入会者の獲得およびその後の経過(本登録者の状況)

合格証書授与式に出席した53期修了者から66名が名刺による仮入会手続きを行った。

2018年度末までの新入会者は人は6名であった。2019年度期初に入会の案内を発信する。

6. ”Wippl” (女性包装管理士の会) コミュニティー活動支援

1) ”Wippl” コミュニティーの現状

- ・2016年11月発足時6名のメンバーであったが、2018年11月時点で18名に増加した。
メンバーの勧誘活動を、メール、口コミ、包装管理士修了式等で実施した。
- ・東京パック期間中に関東関西合同交流会を実施した。

2) 当面の活動

- ・コアメンバーを中心に、コミュニティとしての活動活発化をサポートした。
- ・2019年5月にメンバーによる工場見学会を企画する。

7. 新企画「IPPコミュニ亭」立ち上げ

1) 第1回企画としてBBQにより交流と親睦を図った。IPP会員8名を含め総勢51名の参加がありました。

2) WEBを活用した広報活動の強化として関東支部ツイッターを開始し、包装技術誌でのPRやIPPホームページで告知した。ツイッターアカウントは、「@IppKanto」です。

8. 包装研究会

1) 第5回包装研究会

2018年11月28日(木)18:30~20:15 参加者:10名 会場:㈱文昌堂 貸会議室

テーマ : 軟包装の最先端テクノロジー

講師 : 住本充弘氏 住本技術士事務所 所長

概要 : 今回は、技術士・包装管理士としてご活躍中の、住本充弘氏を講師にお迎えしました。

住本講師は、住本技術士事務所の代表で、日本包装コンサルタント協会の会長を務めておられ、日本包装管理士会の会員としても活動しておられます。

講演は「軟包装の最先端テクノロジー」についてわかりやすく解説していただきました。

「これからは、表面のデザインが単なるグラフィックデザインではなく、スマホを利用した interactive communicationの画面となるものが増加する」など日本では実施されていない、世界の最先端技術の具体的な情報が解説されました。

2) 第6回包装研究会

2019年3月13日(水)15:30~17:30 参加者:11名 会場:㈱文昌堂 貸会議室

① 液体衣類用洗剤「トップ ハレタ」の容器設計

中村泰士氏 ライオン(株) 生産技術研究本部 容器・包装技術研究所

② 後発医薬品における片頭痛治療薬 患者さん用パッケージの設計

渡邊蓉子氏 第一三共エスファ(株) 経営戦略部 開発企画グループ

③ 狭小店舗向けディスプレイカートンの開発

長田真一郎氏 レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第一課

概要 : フレッシュな包装管理士の発表は、とても素晴らしかった。

出席者からも、多くの質問や、激励の言葉もあり、終始和やかな雰囲気での研究会であった。

3名の発表者いずれもプレゼンテーション力があり、視覚に訴える見せ方によく意を配って、要点を適切に伝えている。発声も抑揚があり聞きやすかった。

今回は、年度末の影響もあり、総出席者11名と少なく開催時期の再検討が必要と感じた。

情報交換会では、自己紹介、名刺交換を行い、研究会を通じて人脈の構築がなされた。

9. 見学会・情報交換会

1) 第1回見学会・情報交換会

2018年9月4日(火)13:00~20:00 参加者:13名 (情報交換会/9名参加)

見学先 : ①朝日プリンテック(株)船橋工場

②サッポロビール(株)千葉工場

概要 : ①朝日プリンテック(株)船橋工場

・千葉県と東京東部に配る朝日新聞を刷っている工場です。

・輪転機が稼働している様子、印刷方式、インク特性、配送・梱包エリアなどを見学。

②サッポロビール(株)千葉工場

・広い(172000㎡)工場との印象です。サッポロビール8工場のなかでも首都圏の供給を担っている主力工場の一つです。近代的な設備の整った工場である。

見学の最終時には、ビールが美味しくいただける「ビールの注ぎかた」を学習しました。

10. スキルアップセミナー

会場：文昌堂10F 貸会議室

1回目：高機能性フィルム～食品包装から工業包装分野まで（2018年11月14日 参加者：13名）

講師：森勇士氏、野田哲三氏 株式会社 武田産業

概要：各種フィルムの特徴や用途について説明がありました。

今回、遮光フィルムは金属探知にパスする様にアルミレスで医薬、食品、工業と幅広く使用され成長しているオレフィン系フィルムを紹介し参加者よりガスバリア性、透湿性、レトルト性等の専門的な質問が寄せられた。

又包装梱包分野で使用されているウレタン系・オレフィン系伸縮フィルムは通販や精密機器の緩衝・固定に使用されていると紹介された。

2回目：持続可能な開発目標(SDGs)が包装業界にもたらすもの（2019年2月15日 参加者：13名）

講師：木下 敏郎 氏 凸版印刷(株) 製造統括本部 エコロジーセンター 環境政策部 部長

概要：持続可能な開発目標(SDGs)とは、食料(飢餓防止)、教育、健康、将来のための資源に「全ての人が」「平等に」「困難を伴うことなく」「安全に」「アクセスできる」世界を2030年までに達成するという目標であることが説明された。

また、SDGsの17の目標と169のターゲット(小目標)の位置づけについて、目標達成にはこの条件としてターゲット(小目標)の達成が条件となっていることも説明された。

また、国連がなぜ民間企業にたいしてSDGsの協力を求めるのかについても、金銭的な理由からであると推察されている。そして、各業界のSDGsの取り組みについても事例を挙げて詳しく説明された。加えて、各国のSDGsに関わる法整備についても説明され、1つのビジネスチャンスとして捉えた方が事業につながるとの示唆が示された。

我々が関与する包装業界においては、特に使い捨てプラスチックや海洋プラスチックごみの問題が関与し、生分解性プラスチックが代替される可能性があるとのことであった。

なお、欧州では、ISOによる生分解性プラスチックの基準作りも進んでいることが情報として示された。

11. 海外展示会視察／視察報告会

1)「AUSPACK 2019」視察

日程：2019年3月26日(水)～3月31日(火)

訪問先：“AUSPACK 2019”（オーストラリア・メルボルンで開催）

参加者：8名

概要：“AUSPACK 2017”から2年目で、メルボルン会場での展示会を視察した。

12. 写真研究会

参加人数

3月31日(土)	川崎民家園撮影会	12
5月12日(土)	川崎夜景はとバスツアー	6
6月9日(土)	水元公園撮影会	8
8月25日(土)	写真展準備会	8
9月8日(土)	四つ木・荒川撮影会	7
10月18日(木)	写真展・搬入・飾り付け	8
10月18日(木)～23日(火)	第14回 写真展	14
10月21日(日)	写真展・パーティ	10
10月23日(火)	写真展撤収	10
11月10日(土)	迎賓館撮影会	9
12月11日(火)	ベストワン写真展飾り付け	4
1月25日(金)～26日(土)	下田撮影会	6
1月29日(火)	ベストワン写真展・写真撤去	9
2月2日(土)	総会・ミニ写真展・新年会	13

13. 関東支部50周年事業プロジェクト

「関東支部50周年事業プロジェクトによる検討を始める」ことが2018年度活動方針 3)－6項として掲げられていたが、進展がなかった。

第1号議案－2 2018年度 収支決算報告

2018年度 収支決算報告書

(2018年5月1日～2019年4月30日)

(単位:円)

収入の部			支出の部			
科目	予算額	決算金額	科目	予算額	予算内訳	決算金額
本部交付金	1,528,800	1,528,800				
企画費			1) 企画費	380,000		
			①-1 50周年事業プロジェクト		30,000	-
①組織			①-2 組織(新会員対応)		30,000	2,000
			①-3 組織("Wippl"支援)		20,000	4,037
②東京パック	200,000	200,000	② 東京パック		300,000	276,120
			2) 財務・会計	5,000		-
			3) 広報活動費	10,000		-
			4) 通信費	3,000		1,404
			5) 交通費	3,000		4,000
			6) 総会費	90,000		73,609
理事会費			7) 理事会費	150,000		
①理事会交通費補助			①理事会交通費補助		120,000	88,000
			②会場費		30,000	14,836
渉外交流費			8) 渉外交流費	50,000		
①支部間交流費			①支部間交流費		30,000	-
②国際交流費			②国際交流費		20,000	12,640
写真研究会			9) 写真研究会	50,000		50,000
研修会費			10) 研修会費			
①スキルアップセミナー	90,000	37,000	①スキルアップセミナー		90,000	68,760
②見学会	150,000	47,500	②見学会		200,000	71,360
③包装研究会	60,000	24,000	③包装研究会		70,000	60,320
④視察報告会	30,000	-	④視察報告会		35,000	-
研修会費 小計	330,000	108,500	研修会費 小計	395,000		200,440
			10) 雑費	20,000		432
			11) 事務局費	800,000		800,000
			12) 本部委託費	200,000		200,000
預金利息	-	3	13) 基金へ繰り入れ	-		-
雑収入	-	2,500	14) 予備費	92,871		-
小計	2,058,800	1,839,803	小計	2,248,871		1,727,518
前期繰越金	190,071	190,071	次期繰越金	-		302,356
合計	2,248,871	2,029,874	合計	2,248,871		2,029,874

< 事業基金積立 >

(円)

基金前期繰越金	3,780,278
利息	308
基金今期繰入金	0
基金次期繰越金	3,780,586

第2号議案 監査報告

日本包装管理士会 関東支部
支部長 古平 篤殿

監査報告書

2019年5月13日、日本包装管理士会事務所で、2018年度の会計帳簿、収支決算報告書、貸借対照表および業務報告書などの説明を受け、業務・会計監査を実施しました。以下の通り、監査結果を報告します。

会計的側面

- ・ 公正妥当な会計慣習に従って、決算書と貸借対照表が作成されていることを確認しました。

会計的側面での課題

- ・ 2018年度より、会計処理ソフトがエクセルに変更されました。困難であった予算決算の「科目」と出納帳の記載の一致を引き続き進める必要があります。

業務的側面

- ・ 見学会・地域研究会が計1回にとどまったものの、東京パック2018出展・包装研究会・スキルアップセミナー・AUSPACK視察・新卒業生への勧誘・Wippl活動への支援などの業務遂行を確認しました。
- ・ 会員数増・組織強化を目指した新企画「IPPコミュニ亭」を立ち上げ：BBQによるIPPメンバー以外も含めた交流と親睦が計られたことと、2018年12月に関東支部ツイッターを始め、非会員を主体にフォロワーが拡大し、IPP関東支部の認知につながっていることを確認しました。

業務的側面での課題

- ・ 会員向け事業の延べ参加者は66人。(BBQ参加8人と写真研究会行事を除く)2016年度 121人、2017年度99人、2018年度66人と大幅減少が2年続いている。減少の原因を確認し、進め方の改善を計る必要があります。
- ・ 本部からの交付金1,528,800円に対し、会員向け事業への直接支出は141,940円、事務費用と理事会費の合計の間接支出は1,182,281円。直接支出に比べ間接支出が過大となっています。本部事務局へ依頼する事務内容の見直しなど、予算科目「事務局費」「本部委託費」の大幅削減に取り組む必要があります。・・・この件は、昨年から継続の課題です。

2019年5月27日

監事 荒牧 哲 印

第3号議案－1 2019年度 事業活動基本方針(案)

(期間:2019年5月1日～2020年4月30日)

1) 会員向け事業の充実

包装研究会、スキルアップセミナー、見学会、海外視察の活動を計画的に実施する。
また、異業種間交流、国際交流、写真研究会等の会員相互による交流と親睦を推進する。

2) 会員への情報提供の強化

1. メールアドレスリストの活用により、電子メールによる開催案内や活動状況の提供、ホームページのアップ記事のアナウンス、閲覧案内の頻度を上げる。
2. 見学会、研究会の際、情報交換会を利用して会員の希望を確認し、次回開催の参考とする。

3) 会員数の増強及び組織強化

1. 会員とのコミュニケーションを活発にする。
 - ① 見学会等での情報交換会を充実させ、参加者を多くする。
 - ② JPI「包装技術」誌に“IPPコミュニティー”の毎号掲載を推進する。
 - ③ ”Wippl”(女性管理士の会)コミュニティーの活動を支援する。
 - ④ 新設された「IPPコミュニ亭」の活動推進を支援する。
 - ⑤ 関東支部ツイッター「@IppKanto」を活用した広報活動の強化推進。
2. 新包装管理士のバックアップ:
新期修了管理士でメールアドレスを提供した人には、その年度残余期間については会費免除の仮会員として、会員並みの情報を提供し入会を促す。

4) 本部、JPI関東支部、包装4団体との関係強化

IPP本部への協力・連携のほか、JPI関東支部との連携を強化する。
包装4団体との共同事業にも参画する。

5) 堅実な予算執行に努める

定期的に支部理事会で予算執行状況を管理する。

6) 関東支部50周年記念行事に向けて具体的な検討を始める。

プロジェクトチームの活動日程を確定した。
第1回会合を7月5日(金)に開催し、20120年2月6日(木)を目途に具体案を策定する。

第3号議案－2 2019年度 収支予算(案)

2019年度 収支予算(案)

(2019年5月1日～2020年4月30日)

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	予算内訳	科目	予算額	予算内訳
本部交付金	1,528,800				
企画費	-		1) 企画費	200,000	
①-1 50周年事業プロジェクト			①-1 50周年事業プロジェクト		50,000
①-2 組織(新会員対応)			①-2 組織(新会員対応)		30,000
①-3 組織("Wipll"支援)			①-3 組織("Wipll"支援)		20,000
② 東京パック準備金	-		② 東京パック		100,000
			2) 財務・会計	5,000	
			3) 広報活動費	10,000	
			4) 通信費	3,000	
			5) 交通費	3,000	
			6) 総会費	90,000	
理事会費	-		7) 理事会費	180,000	
①理事会交通費補助			①理事会交通費補助		140,000
②会場費			②会場費		40,000
渉外交流費	-		8) 渉外交流費	50,000	
①支部間交流費			①支部間交流費		30,000
②国際交流費			②国際交流費		20,000
写真研究会	-		9) 写真研究会	50,000	
研修会費	380,000		10) 研修会費	480,000	
①スキルアップセミナー		90,000	①スキルアップセミナー		110,000
②見学会		200,000	②見学会		250,000
③包装研究会		60,000	③包装研究会		80,000
④視察報告会		30,000	④視察報告会		40,000
			10) 雑費	20,000	
			11) 事務局費	800,000	
			12) 本部委託費	200,000	
預金利息	-		13) 基金へ繰り入れ	-	
雑収入	-		14) 予備費	120,156	-
小計	1,908,800		小計	2,211,156	
前期繰越金	302,356		次期繰越金	-	
合計	2,211,156		合計	2,211,156	

<事業基金積立>

(円)

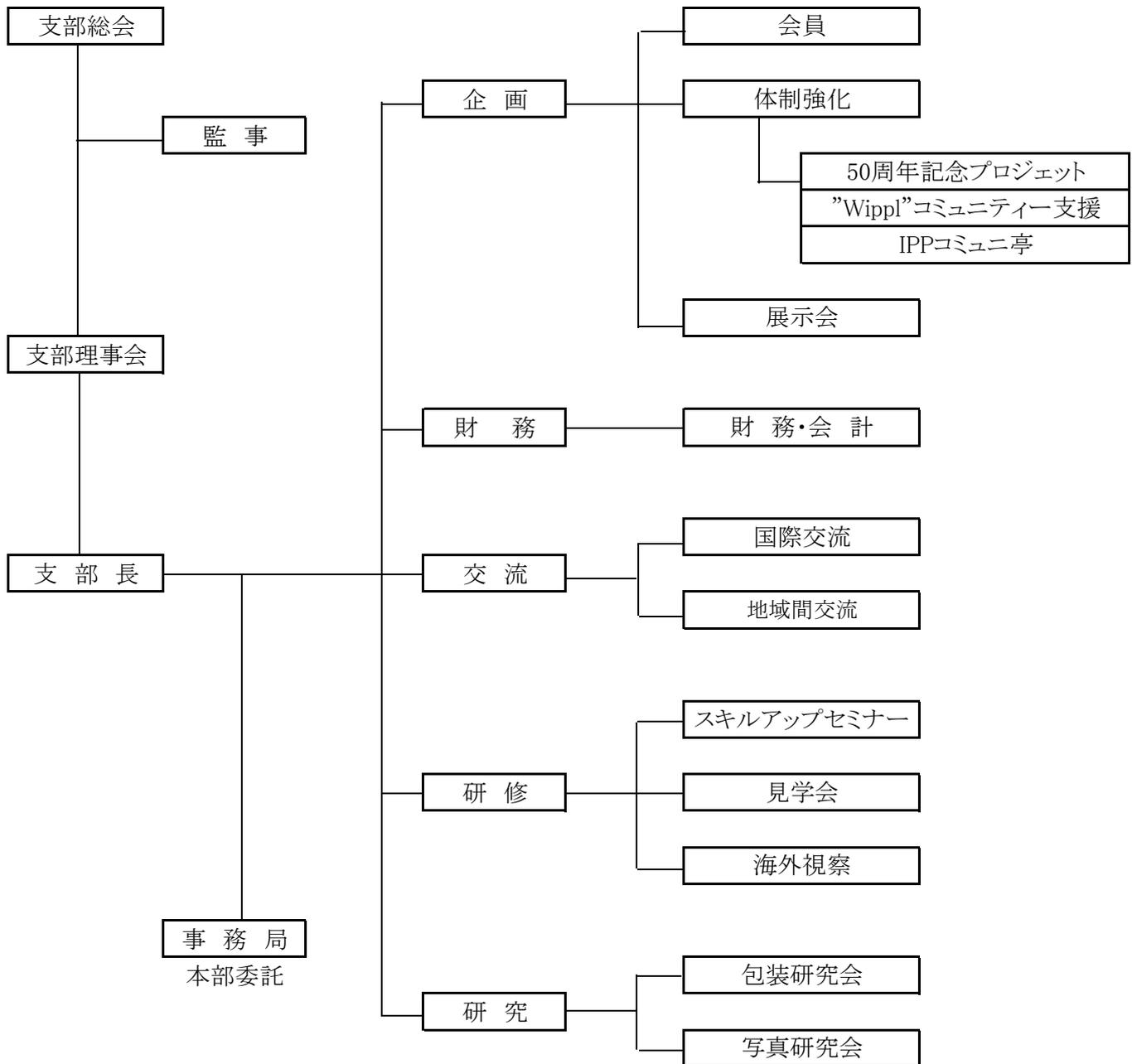
基金前期繰越金	3,780,586
利息	-
基金今期繰入金	-
基金次期繰越金	3,780,586

2019年度 役員

役 職		氏 名	勤務先	所 属		
支 部 長		古平 篤	ムラカワ(株)	大井物流センター 品質保証室		
副支部長		道明 誠	(株)ジーシー	受注・配送センター 安全保障 貿易管理室		
理 事		五十嵐 誠				
		石川 純之助	石川紙業(株)			
		福野 壽史	グリーン商会			
		笹木 憲一	(一社)東京都トラック協会	台東支部事務局		
		大川 和康	(株)大伊豆			
		高橋 二郎	(株)石野製作所			
		田村 正幸	フジモリ産業(株)	化成品事業部 化成品2課		
		須藤 貴行	(株)インターナショナル三興	営業部		
		小古井 聡	JA全農長野	北信事業所 営農資材課		
		大濱 健司	ポルターレ			
		大野 豊	新村印刷(株)	営業2部		
		櫻田 賢	森永製菓(株)	研究所 研究開発戦略部 研究開発推進グループ		
		朝倉 久男	NPO ビジネスサポート			
		下浦 博之	雪印メグミルク(株)	ミルクサイエンス研究所		
		大枝 麻由	(株)精工	営業企画本部		
監 事		荒牧 哲	自営 (不動産賃貸業)			
事 務 局		本部委託			03-3543-9250	03-3543-8970
					ipp@pk9.so-net.ne.jp	

計 19名

【別表 I】 2019年度 組織表



【別表Ⅱ】

2019年度 事業日程

年 / 月 事業		2019年								2020年				備考
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
総会	関東支部		26 (水)											本部・支部 同日同会場
	本部		26 (水)											
理事会	関東支部	23 (木)		18 (木)		12 (木)		14 (木)	5 (木)			5 (木)		
	本部	29 (水)			31 (土)			20 (水)					10 (土)	4回
海外視察・報告会														視察会 検討中
見学会・地域研究会					○						○			
研究会	包装研究会													
	写真研究会			26 ~30 横浜写真展					12/下旬 ~1/末 ベストワン 写真展		総会			撮影会 5回
54期生修了式							18 (金)							新橋 (新会場)
スキルアップセミナー等								○			○			2回
東京パック2021														ビッグサイト
包装技術研究大会								21 ~22						仙台開催
50周年プロジェクト				5 (金)							6 (木)			
IPPコミュニ亭			16 (日)											6/16:BBQ

※1. 関東支部50周年プロジェクト／予定メンバー
古平支部長、朝倉さん、荒牧さん、大枝さん、大川さん、須藤さん、の7名

※2. 写真研究会／2019年度活動計画
・撮影会 年5回開催の予定
・写真展 (7月26日～30日) 会場: 横浜山手234番館
・ベストワン写真展(12月-2020年1月) 会場: JPIロビー
・小写真展・総会

* 3. 54期包装管理士講座 東京会場
AP新橋4階 港区新橋一丁目12番9号 A-PLACE新橋駅前